

事業所名		重症児者多機能型デイサービスPolaris				支援プログラム		作成日		2024 年		8 月		1 日	
法人（事業所）理念		『普通をあたりまえに』・・・それぞれが思う普通があたりまえである社会であるために、私たちの持てる力で貢献します。													
支援方針		児童、そして家族の方々が「普通のことだね」「出来てあたりまえだね」と思うことができるように、「普通であって欲しい」「出来て欲しい」という願いを叶えるためのお手伝いをいたします。Polarisは北極星を示し、「道しるべ」「指針」といった意味を持ちます。誰もが目指す目的の場所へ、目標に向かって進むため、個々が輝ける未来へ、それぞれの思う幸せへ向かっていくために私たちは支援していきます。													
営業時間		9 時 00 分から 18 時 00 分まで				送迎実施の有無		あり							
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	主疾患、既往歴や現在の医療的ケアの有無、日中のみならず夜間含めて使用している機器や必要な行為を把握し、児童が安全に過ごすための観察項目を理解して支援していく。また専門職の特色を活かし、児童に合った形での支援を家族と共有し実施していきます。また児童のみならず、家族の生活リズムが児童に影響することを考慮し支援を考え実践していきます。													
	運動・感覚	粗大運動や微細運動など広い範囲で児童の状況にあった活動や機能訓練を実施していきます。また、骨や筋力に応じた負荷を専門職等と相談し、安全な活動、安楽な姿勢で行い怪我のないように注意して支援をしていきます。感覚遊びについては、誤飲等危険なリスクがあることは避け必要に応じてスタッフの手で安全な素材のモノで遊び、訓練を実践していきます。													
	認知・行動	児童に応じて興味のある味、色、におい、音、感覚など五感を大切にした遊びを取り入れた室内活動、課外活動を通して「知る」を増やしていくことを実践していきます。安全な行動、危険な行動を理解しそれぞれの児童にあった行動ができるよう声掛けを行い、身体の動きをサポートしていきます。													
	言語コミュニケーション	児童のレベル、年齢に応じた声掛けや、声の大きさやトーンなどにも配慮していきます。また、ボディランゲージ等さまざまなコミュニケーション方法も模索し、個々にあった関わりを見つけ家族とスタッフ全員とで共有し外界と関わりを広げていきます。													
	人間関係社会性	家族との関係はもちろん、職種固定、同一スタッフにこだわらずに全員で関わっていきます。また他事業所との連携やイベントの参加、季節の行事を積極的に取り入れ活動をしていきます。													
家族支援		家族の想い・利用する目的に相違がないように関わるとともに、兄弟・姉妹との関わりでの不安や相談事でのアドバイス等本児に関わらず、単位を児童だけではなく家族と大きくくりで支援の幅を広げていきます。				移行支援		本児の成長に応じた活動ができる場所、成長の場や生活の場を探し提案や必要に応じて間を取り持った関わりをしていきます。							
地域支援・地域連携		本児と関わる相談支援事業所、各支援学校や役所、他事業所、保育園等関わりのある全ての地域での施設と積極的に連携していきます。				職員の質の向上		OJTやOFF-JTでのそれぞれのレベルアップ、個々が調べて参加したい、学びたいことに対して積極的に参加を促していきます。							
主な行事等		春：入学/お花見/ひな祭りetc… 夏：七夕/夏祭りetc… 秋：十五夜/ハロウィンetc… 冬：お正月/節分/卒業etc… その他：季節での製作、近隣や商業施設でのイベント見学、他法人との合同活動etc…													